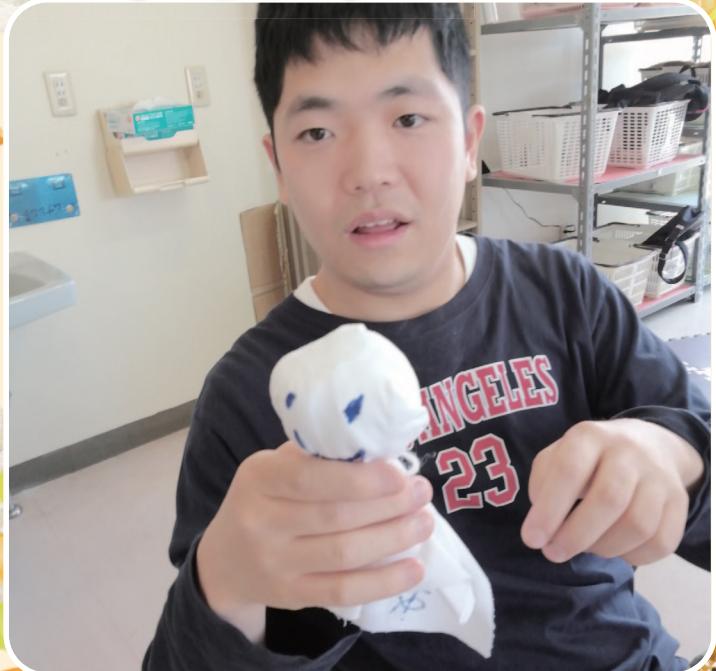


# コロニー山口

発行／社会福祉法人 山口県コロニー協会 防府市大字台道10522番地  
TEL 0835-32-0069 <https://www.ycolony.or.jp/>



## 山口コロニーワークセンター



## 山口コロニーキャンパス



## ワークショップ・山口



# 令和5年度事業報告

## (新型コロナウイルス感染症)

令和2年から始まつた新型コロナウイルス感染の終息は、まだ見えませんが、令和5年5月からは感染症の分類が2類から5類にと変更され、マスク着用は任意となるなど、Withコロナに向けた展開が進んだ一年でした。

しかし、本協会の利用者は感染症に対し抵抗力が低い高齢の障害者が多いため、今までと同様に利用者をはじめ皆様のご協力を得て、マスクの着用をはじめとした感染症対策を取りながら事業を一年間続けました。そうした中においても、4月には入所者を対象とした日帰りのバス旅行を行い、入所者49人中37人が参加されました。下関海響館やホテルの昼食バイキング、アウトレットでの買い物など参加者全員がコロナ禍以前のようなども楽しい一日をすごすことができました。

また、5月には県内の障害者を対象に開催されていた陸上競技やフリスビー大会が復活し、利用者は感染防止に気をつけながらではあります、が参加することができるなど明るい話題もありました。

コロナ禍以前の行事も多少は戻ってきた一方で、令和5年5月と令和6年2月の2度、入所者の中から陽性者がいました。クラスターの心配もしましたが、幸いにいずれも症状が軽く数名が感染したのみで治まり、職員の対応も、昨年度におけるクラスター時の経験を生かして落ち着いて対応することができ大事には至りませんでした。

## (業務継続計画・感染対策指針)

令和6年1月1日に能登半島沖地震(M7.6)が発生し、家屋の倒壊や山崩れ、津波等の大きな被害が出ました。

自然災害の怖さとこれへの対応策を事前に作成しておくことの重要さを改めて考えさせられました。

また、翌日の1月2日には、羽田空港の滑走路において日航ジェット旅客機の乗客乗員379名が全員無事に脱出できたという奇跡が起きました。これは、日ごろから日本航空が乗務員に対して行っていたマニュアルの徹底と訓練の成果によるもので大きないと大々的に報じられました。これらの天災や人為的な災害時にに対する防災は、平素からの避難計画やその訓練の重要を強く感じた年でした。

本年度中に業務継続計画と感染対策指針を策定することを求められていましたが、協会職員で作業に取り組み年度内に計画を策定することができました。

令和6年度においては、この度策定した業務継続計画や感染対策指針を職員研修項目の一つに加え、避難訓練と共に自然災害や人為的な災害対応の周知を徹底し、災害等に強い協会を目指したいと考えています。

## (職員研修)

本協会が令和5年度に実施した職員研修については、業務に関連した研修は勿論のことですが、新たに『職員が自発的に自分達の受けたい研修テーマを見つけ、講師や日程の調整をして研修を実施し、研修後には受講した職員のアンケート結果をまとめて、次の研修の参考にする』という研修を行いました。研修のテーマは日頃の業務に直接関連するものや、日常生活の参考になるもの（お金の話）までバラエティーに富んでいます。このように研修を企画・立案・実施することが一つの自分たちの研修になるという、言わば一石二鳥の研修ですが、これは長年にわたり職員研修をお願いしてきた研修会社のアドバイスを得て実現したものです。

今後も、全職員のスキルが更にアップして職場に活きる研修を続けていきたいと思います。

## (その他)

ロシアのウクライナ侵攻が強く影響しているガソリン価格を始め電気料金等や、諸物価の高騰が続き、法人経営上の大きな負担になりました。

3月には日経平均株価の終値が史上最高額4万円台になりましたが、日々の私たちの実感とはかけ離れた話のように感じています。令和6年度は、3年に一度の支援費報酬が改定される年です。現状に合った報酬に改定にされるようになると期待しています。

以上のことおり、本協会にとって厳しい令和5年度でしたが、一日も早くコロナ禍以前の平穏な日常に戻ることを強く願つた一年になりました。

# 令和6年度事業計画

コロナ禍における事業運営も4年が経過し、この間はいろいろな制約の中での活動が続きました。感染症の分類が5類に変更されて約1年が過ぎようとしています。が、現在も陽性者は一時期ほど、感染者数ではないものであります。

本協会の利用者には感染症に対する免疫力が低い方も多いことから、本協会では三密を避け、換気・消毒・検温・マスク着用など感染防止対策を続けながらの支援を行っています。

コロナウイルスの感染防止に配慮しながら支援をしてきましたが、残念ながら今年2月に入所利用者の中から陽性者が出てきました。

昨年のクラスター発生時の経験も参考にして策定した『感染症対策指針』に従い、職員は直ちに感染拡大防止のために施設のゾーニングをはじめ、指針に沿って感染者の支援は繰りながら感染の拡大を防止する対応に全力を挙げて取り組みました。幸いに陽性者の症状は軽く陽性者数の拡大も治めることができました。このように指針に従い平素から資機材を準備しておいて良かったと強く感じました。

一日も早いマスク無しでの生活が来る日を願っていますが、令和6年度もしばらくはコロナ禍の心配をしながら支援活動をすることになると思います。

引き続き感染防止対策とりながらの支援を続けてまいります。

一方、令和6年の幕開けは、元日に発生した能登半島地震で家屋の倒壊や大規模火災、土砂崩れや津波等による甚大な自然災害が発生し、2日には羽田空港でJAL機と海保機が衝突・炎上した大事故が起きました。奇跡的にJAL機の搭乗者379名は全員無事に脱出できましたが、これは、CA等が日頃の訓練どおりに活動できた賜物であると報じられていました。

大規模な自然災害と大事故で幕が開けた令和6年でしたが、本協会は自然災害に備えた『事業継続計画（BCP）』とコロナウイルス等の感染症発生に備えた『感染症対策指針』を令和5年度に策定しています。

令和6年度はこれらの計画や指針の周知を図るために職員研修と大雨による土砂災害や火災に備えた避難訓練を実施し、防災備品の備蓄等も行います。

更に安全で安心できるサービスが提供できる支援事業所を目指します。

また、コロナ禍の影響もあり、協会の運営は厳しい状況が続いているますが、令和6年度は一日も早く安定した法人運営ができるように経営基盤の安定を目指したいと考えています。

そのためには、第一に財政基盤の確立がとても重要であり、財政基盤が確立されることは施設設備の改修も可能になります。職員が望む将来の協会像を描くこともできます。第二は、人材育成が重要であり、職員の理解と協力がなければ経営基盤の安定に必要な財政基盤の確立は不可能です。職員が財務状況を把握し経営意識の醸成が図れるように外部の講師や内部講師による職員研修に力を入れてまいります。これらを実現していくことが、福祉サービスが更に充実でき真に求める障害者支援事業所になれると考えます。

その他、職員が夢を持てる魅力ある職場になれるように、職場環境や労働条件等の見直しを行ひ人材定着の向上を目指します。数年間はコロナ禍や戦争など暗くて不安定な情勢が続きましたが、令和6年度の本協会は飛躍するための確実な第一歩となる年にしたいと思います。

本年度も、皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 法人単位事業活動計算書

(自 合 5年 4月 1日 至 合 6年 3月31日) (単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	取扱支援事業収益	128,142,767	125,378,013	2,764,754
	障害福祉サービス等事業収益	265,898,714	272,511,243	△6,612,529
	経常経費寄附金収益	10,000	50,000	△40,000
	その他の収益	5,470,032	4,144,608	1,325,424
	サービス活動収益計(1)	399,521,513	402,083,864	△2,562,351
	人件費	181,150,649	181,302,887	△152,238
	事業費	46,586,908	50,026,373	△3,439,465
	事務費	41,822,658	40,602,789	1,219,869
	労働支援事業費用	125,502,672	126,573,983	△1,071,311
	減価償却費	39,000,137	38,579,757	420,380
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	国庫補助金等特別積立金取崩額	△23,947,022	△24,148,427	201,405
	サービス活動費用計(2)	410,116,002	412,937,362	△2,821,360
	受取利息配当金収益	43,471	14,435	29,036
	その他のサービス活動外収益	7,787,784	7,881,188	△93,404
サービス活動外収益計(4)		7,831,255	7,895,623	△64,368
特 別 益 減 の 部	支払利息	290,110	335,193	△45,083
	その他のサービス活動外費用	17,660	9,664	7,996
	サービス活動外費用計(5)	307,770	344,857	△37,087
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,523,485	7,550,765	△27,281
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△3,071,004	△3,302,732	231,728
	施設整備等補助金収益	2,700,000	0	2,700,000
	固定資産売却益	0	999	△999
	特別収益計(8)	2,700,000	999	2,699,001
	固定資産売却損・処分損	94,026	84,163	9,863
	国庫補助金等特別積立金額	2,700,000	0	2,700,000
織 越 活 動 増 減 差 額 の 部	特別収益計(9)	2,794,026	84,163	2,708,863
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△94,026	△83,164	△10,862
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△3,165,030	△3,385,896	220,866
	前期織越活動増減差額(12)	188,530,393	197,916,409	△9,386,016
当期末織越活動増減差額(13)=(11)+(12)		185,365,363	194,530,513	△9,165,150
基 本 金 増 減 の 部	当基本金取崩額(14)	0	0	0
	当期末支払資金残高(15)	0	0	0
	その他の積立金立替(16)	6,800,223	6,000,120	800,103
	次期織越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	178,565,140	188,530,393	△9,965,253

## 法人単位資金収支計算書

(自 合 5年 4月 1日 至 合 6年 3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業 収入	扶助支援事業収入	123,145,000	128,142,767	△4,997,767	
事業 支出	扶助支援サービス等事業収入	285,649,000	265,898,714	19,750,286	
運 営 に よ る 收 支	経常経費寄附金収入	0	0	0	△10,000
	受取利息配当金収入	16,000	43,471	△27,471	
	その他の収入	7,268,000	13,247,136	△5,979,136	
	事業活動収入計(1)	416,078,000	407,342,088	8,735,912	
支 出	人件費支出手	183,842,000	180,930,046	2,911,954	
	事業費支出手	50,953,000	46,586,908	4,366,092	
	事務費支出手	42,364,000	41,822,658	541,342	
	支払利息支出手	121,527,000	125,849,858	△4,322,858	
	支払利息支出手	291,000	290,110	900	
	その他の支出	10,000	17,660	△7,660	
	事業活動支出計(2)	398,987,000	395,497,240	3,489,760	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	17,091,000			
施 設 整 備 等 に よ る 收 支	施設整備等補助金収入	0	2,700,000	△2,700,000	
	施設整備等収益	0	2,700,000	△2,700,000	
	施設整備等収益計(4)	10,600,000	10,600,000	0	
	固定資金借入元金利償還支出	2,851,000	12,877,879	△10,026,079	
	固定資産取得・廃棄支出	0	94,021	△94,021	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	996,000	1,420,476	△424,476	
	施設整備等支出計(5)	14,455,000	25,000,378	△10,545,378	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△14,455,000	△22,300,378	7,845,378	
そ の た か し の 支 出	固定資産購入取崩収入	2,946,000	4,877,641	△1,931,641	
	その他の活動収入計(7)	2,946,000	4,877,641	△1,931,641	
	積立資産支出	3,378,000	9,179,739	△5,801,739	
	その他の活動支出計(8)	3,378,000	9,179,739	△5,801,739	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△432,000	△4,302,098	3,870,098	
	予備費支出(10)	8,312,000	0	8,312,000	
	△6,108,000	0	2,204,000		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△14,757,628	14,757,628	
	前期末支払資金残高(12)	169,739,672	154,585,360	15,154,312	
	当期末支払資金残高(11)-(12)	169,739,672	139,272,732	29,911,940	
脚注: 予備費支出108,000円は、人件費支出2,310,000円、事業費支出400,000円、事務費支出2,418,000円、固定資産取得支出150,000円、積立資産支出80,000円に先当使用した額である。 詳細は、該当箇所の方の賃金収支計算書に記載している。					

## 法人単位貸借対照表

(令和 6年 3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		勘定科目	当年度末	前年度末	増減	負債の部	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流动資産	194,624,682	204,289,926	△9,665,244	流动負債	72,880,647	65,520,966	7,359,681			
现金預金	140,806,624	148,735,910	△7,929,286	事業未払金	36,909,706	32,875,173	4,034,533			
事業未収金	47,663,938	47,397,361	266,577	支払手形	2,961,064	3,379,906	△418,842			
未収賃貸金	355,000	1,431,000	△1,076,000	1年以内返済予定設備資金借入金	10,608,000	10,608,000	0			
商品・製品	902,172	903,972	△1,800	1年以内返済予定リース債務	2,015,688	995,328	1,020,360			
仕掛品	870,400	1,332,400	△462,000	預り金	3,062,255	22,101	3,040,154			
原材料	3,239,144	3,578,695	△339,551	職員預り金	4,485,618	5,466,168	△979,550			
立替金	758,032	910,588	△152,556	前受金	2,365,591	2,146,151	219,440			
前払金	29,372	0	29,372	賞与引当金	10,471,725	10,028,139	443,586			
固定資産	844,040,298	860,700,911	△16,660,613	固定負債	117,251,993	125,929,742	△8,677,749			
基本財産	749,791,750	779,852,330	△30,060,580	設備資金借入金	86,550,000	97,158,000	△10,608,000			
土地	57,356,820	57,356,820	0	リース債務	7,190,002	2,488,320	4,701,682			
建物	692,434,930	722,495,510	△30,060,580	退職給付引当金	23,511,991	26,283,422	△2,771,431			
その他の固定資産	94,248,548	80,848,581	13,399,967	負債の部合計	190,132,640	191,450,708	△1,318,068			
建物	15,266,256	16,040,718	△772,462	純資産の部						
構築物	2	2	0	基本金	205,290,081	205,290,081	0			
機械及び装置	6,868,326	8,464,184	△1,595,858	第一号基金	47,833,581	47,833,581	0			
車両及機器	6,063,982	3,885,769	2,178,213	第二号基金	157,456,500	157,456,500	0			
器具及び備品	7,422,640	3,699,933	3,722,707	その他の積立金	439,842,168	461,684,927	△21,842,759			
有形リース資産	9,205,690	3,483,648	5,722,042	施設整備金等特別積立金	24,834,951	18,034,728	6,800,223			
権利	828,210	828,210	0	施設整備金等積立金	23,034,951	17,034,728	6,000,223			
ソフトウェア	118,190	11,647	106,543	設備整備金等積立金	1,800,000	1,000,000	800,000			
退職給付引当資産	23,511,991	26,283,422	△2,771,431	当期織越活動増減差額	178,565,140	188,530,393	△9,965,253			
施設整備等積立資産	23,034,951	17,034,728	6,000,223	(△)当期活動増減差額	△3,165,030	△3,385,896	220,866			
設備等整備積立資産	1,800,000	1,000,000	800,000	負債及び純資産の部合計	848,532,340	873,540,129	△25,007,789			
その他の固定資産	126,310	116,320	9,990	資産の部合計	1,038,664,980	1,064,990,837	△26,325,857			
資産の部合計	1,038,664,980	1,064,990,837	△26,325,857	負債及び純資産の部合計	1,038,664,980	1,064,990,837	△26,325,857			

## 令和 6 年度役員等名簿

(令和 5年 6月 22日～)

理 事 長	岡本 幸生
業務執行理事	黒宰 満
理 事	行重 延昭
//	相川 文仁
//	久保 潤爾
//	小藤ひとみ

評議員	杉山 正胡
//	河邊 智之
//	石川 和芳
//	松田 信夫
//	村田 信行
//	山脇 宏

評議員	野村 幹男
監 事	毛利山正行
//	田内 信浩
顧 問	小澤 克介
//	山根 康夫

## 福祉車両の補助事業



JKA様より補助を受け福祉車両（日産キャラバンチエアキャブ車いす4名仕様）を購入しました。主に車いすを使用されている利用者の送迎、余暇活動等に使用させていただいております。今後も助成いただきいた車両を含めた福祉車両を有効活用し、利用者のみなさまが積極的に社会参加できるような環境を整備して参ります。

この度は、助成をいただき誠にありがとうございました。

令和6年1月、公益財団法人JKA様より補助を受け福祉車両（日産キャラバンチエアキャブ車いす4名仕様）を購入しました。主に車いすを使用されている利用者の送迎、余暇活動等に使用させていただいております。今後も助成いただきいた車両を含めた福祉車両を有効活用し、利用者のみなさまが積極的に社会参加できるよう環境を整備して参ります。

## 赤い羽根共同募金



令和6年1月25日、当協会にて赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト寄付金贈呈式」が行われました。

当協会では平成24年より「募金百貨店プロジェクト」の一環として、施設内に寄付つき自動販売機を設置し、売上金の一部を寄付しております。

今後も取り組みを継続し、ささやかではありますが地域に貢献していくことを願っています。

2月23日、「まさか、決勝までのこるなんてね。」と話しながら、ソーフトバレーを楽しみました。サーブの時は緊張をしましたが、相手のボールを拾えた時やパスが上手に出来た時には嬉しくワクワクしてきました。



## 職員親睦バドミントン大会



今後も取り組みを継続し、ささやかではありますが地域に貢献していくことを願っています。

バドミントン経験者の方が頼もしく、未経験の方も試合中にメキメキ点を決めて1回戦・2回戦と進んでいきました。結果は、Aグループで2位でした。久しぶりに運動して、応援して、楽しい1日になりました。

## 土砂災害避難訓練



近年、毎年のように大雨による被害が続いている。土砂災害をはじめ自然災害は対岸の火事ではありません。今後も「我がこと感」を常に持ち、防災に努めて参ります。

6月4日（火）土砂災害避難訓練を実施しました。午前は防府市と連携して情報伝達訓練を行い、午後は敷地北側の土砂災害を想定した実働避難訓練を行いました。

# レクリエーション

## 大村神社お花見ツアー

4月6日（土）山口市鎧銭司の大村神社へお花見に行きました。大村神社の桜は満開の一歩手前。来週には見ごろを過ぎてしまう可能性もあった為、タイミング的には上出来です。大村神社の境内から桜と長沢池を見下ろしたり、ぽかぽか陽気の日光浴を楽しんだり、桜の花の近くまでいって桜の花を嗅いで見たりと、限られた時間の中でお花見を堪能しました。来年もみんなで来ましょうね。



## ミニチュア ライフ展 2

4月13日（土）に防府アスピラートで開催されたミニチュアライフ展2に参加しました。作家の田中達也さんが製作された日用品を使って別の物に見立てたミニチュア作品が多く展示してあり、ユーモアたっぷりで精密な作品を皆さん楽しんで鑑賞されていました。その後、向島運動公園に移動してみんなでお弁当を食べました。天気も良くゆっくりとした時間を過ごすことで皆さんリラックスできたのではないかと思います。



## キラリンピック フライングディスク

5月19日（日）やまぐち富士商ドームにて、第24回キラリンピック、フライングディスク大会が開催されました。天候に恵まれ、コンディションが良い中、アキュラシーとディスタンスの2種目が行われ、皆さん真剣な面持ちで競技に挑まれていました。入賞された方にはメダルが授与され、とても嬉しそうにされていたのが印象的でした。競技の合間には、みなさん談笑もされ、和気あいあいとした時間を過ごされた1日でした。



## 第62回防府市障害者体育大会

6月1日（土）防府市障害者体育大会に参加しました。30m競走、車いす競争から始まる午前の部は7種目。午前の部が終わるころにはみんなへとへとです。お弁当を食べて体力回復。午後の種目は3種目。大人気のパンくい競争では、用意ドンの合図で吊るされたパン目掛けて疾走、パンを持ってほくほく顔で戻ってきました。とても楽しい1日でした。大会関係者の皆さん、おつかれさまでした。来年もよろしくお願ひいたします。



令和5年度

## 定年退職者を送る会

退職者 谷口 三恵子さん

3月29日定年退職者1名を送る会を行いました。長年にわたり当協会の発展にご尽力いただきありがとうございました。

今年度も引き続き嘱託職員としてワークセンターを支えて頂いています。今後ともよろしくお願ひ致します。



### 主な行事

令和6年4月～令和6年6月

4月	1日	年度始め式・辞令交付式
	5日	JKA補助事業交付式 出席
	12日	定期健康診断
	13日	所外レクリエーション
	20日	所内レクリエーション
	22日	赤い羽根県域公募助成交付式 出席
5月	11日	所内レクリエーション
	12日	第24回キラリンピック 陸上競技 参加
	19日	第24回キラリンピック フライングディスク 参加
	24日	監事監査
	25日	所内レクリエーション
6月	1日	第62回防府市障害者体育大会 参加
	4日	土砂災害避難訓練
	6日	第1回理事会
	15日	所内レクリエーション
	16日	ふれあいのスポーツ広場(ナイスハート基金)参加
	22日	所内レクリエーション
	24日	勝軍地蔵縁日法要
	27日	定時評議員会
	29日	所内レクリエーション



-インスタグラム-  
Instagram

利用者の日常・行事…  
たくさん公開中です！

山口コロニーワークセンター

山口コロニーキャンパス

ワークショップ・山口



## 山口コロニーワークセンター 施設入所支援の 利用定員変更のお知らせ

令和6年4月1日付けで山口コロニーワークセンター施設入所支援の利用定員を下記のとおり変更いたしました。なお、生活介護、生活訓練の利用定員については変更ございません。

施設入所支援 60名⇒50名

キャンパスにて生産しているものを販売しています！  
くわしくは電話でお問い合わせ下さい。

☎0835-32-0069

手焼き  
勝軍地蔵尊せんべい  
てづくり 荻焼勝軍窯